

平成27年度委員会活動評価に対する各委員会の意見への対応

分類	各委員会の意見	対応の場	対応方針
<p>委員会活動の振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価項目「議員間討議の充実度」について、請願や意見書など採決を求められるものは、会派間の考え方の違いによりそれぞれの委員の意見を聞いて自分の意見を述べるのが議論の活性化につながるが、それ以外の一般的な議員間討議は、委員自ら発するようよりは、正副委員長から、こういう課題について議論してほしいことを提示してもらえば、積極的に委員間討議ができるのではないかと。 ・ 意見が分かれるような大きな議題以外でも、議論が活発になるためには正副委員長から討議を促してもらおうというような、正副委員長のリーダーシップによるところがある。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度の振り返りで「政策討論会議との関係で、常任委員会の議論が薄くなった」という意見があり、今年度も特別委員会との役割分担について調整が必要になる。事前に整理されていた方が、委員会で活発な議論ができるのではないかと。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の年の委員会に引き継ぐのであれば、もう少し詳しく書かないと伝わらない。 ・ 振り返っただけでは次の委員会に繋がらない。「こんな課題が残ったので来年もぜひ検討してほしい」といった課題や「運営上、こうすれば良かった」という気づきなど、次の年の委員会運営に活かせる形で残してほしい。 	<p>委員長会議</p>	<p>委員長会議(6/30)で共有</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会活動の振り返りに記載されていた事項については、今年度の重点調査項目を決めるうえでも参考となり、常任委員会の継続的な改善活動に資するという意味では良かったのではないかと。 ※ 入札制度の調査が十分できず、今後もチェックしていく必要があるとの意見。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度に実施した参考人招致では、積極的な意見が議論されるなど高く評価されていることもあり、今年度も、今後の議論の状況なども踏まえ、必要に応じて、積極的に参考人招致について検討していくことも必要である。 ・ 「参考人招致の活用度」について、本委員会で参考人を呼んで勉強したことは非常に良かったので、今後も取り入れていただくことが必要ではないかと。 		

分類	各委員会の意見	対応の場	対応方針
<p>評価項目等の活動評価の仕組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 委員会評価は昨年度が初めての実施であり、2年目ですぐ変更するのまいかなものかと思う。継続して、今の形で実施すればいいのではないか。 (1)年間活動計画の進捗度～(5)県外調査の充実度までは自分たちの計画の話。本来の評価の趣旨としては、(6)以降に意味があると思うが、設問の仕方などに工夫が必要。 参考人招致や公聴会は、実施していない委員会もあるもので、どうしていくべきか、委員長会議などで話をしていくことも必要。たとえば項目を1本化しても良い。 (7)公聴会の活用度について、実施しなければ評価できず、開催をした場合のみ評価となっていることから、他の評価項目と別にした方が平均化しやすいのではないか。 評価項目については、(8)施策への反映度は評価が難しい。また、評価結果を受け取る側として見た時には、自由記載の意見のほうで参考としやすい。 (8)施策への反映度の部分で、委員会が提言したことが、全て施策に反映されるということはないことから、それを反映度としてどこまで評価することができるのか疑問である。 「評価の自由記載欄」では、各委員の主観的な評価が列記され、その中には相反する意見もでてくるものもある。また、当該委員会ではかわからない評価理由が記載されていることがあるなど、外部(県民)からみてわかりづらい内容になっていないか。 「みえ現場de県議会」などで話し合われたことで、各常任委員会に関係のある部分を、どこかできちんと伝えないと、意識もできないと考えられるので、そのあたりの調整をどうしていくのか。広聴広報会議の検討内容が各常任委員会に伝わるような調整をお願いしたい。 	<p>議会改革推進会議</p>	<p>議会改革推進会議で協議</p>
<p>評価の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> 評価結果を受けて、三重県議会としてどうするのか、委員会を超えた横断的な視点で分析し、翌年度の委員会運営に反映させる必要があるのではないか。例えば、議員間討議の充実している委員会があれば、どういう工夫をしたのかをフィードバックする場がないといけないのではないか。 	<p>委員長会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今年度からは、3月の委員長会議でしっかりと議論し、必要に応じて委員長間で情報共有したうえで、次年度の委員長へ引き継ぐなど、委員会運営の改善に繋げる。

チャックシート

議会活動の中心的な役割を果たす各常任委員会において、委員会活動が「監視・評価・政策立案・政策提言」の充実に寄与できたかという観点から評価を行うためのチャック項目をまとめました。
 これまでの委員会活動を振り返り、評価の視点を参考にして、委員（理事）の皆さんで自己評価を行っていただき、5段階評価をしてください。（但し、例えば「公聴会」を開催しなかった時などは、該当なしとして当該項目の評価欄は「-」をつけてください。）

項目	委員会名（ 評価の視点	評価
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 （評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。）	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 （評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。）	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 （評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。）	
(4)県内調査の充実度	県内調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 （評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。）	
(5)県外調査の充実度	県外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 （評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。）	

項目	評価の視点	評価
(6) 参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	<p>参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。</p> <p>参考人から十分な調査を行うことが出来たか。</p> <p>参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p>	
(7) 公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	<p>公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。</p> <p>公聴会では十分な調査を行うことが出来たか。</p> <p>公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p>	
(8) 施策への反映度	<p>調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。</p> <p>執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。</p> <p>調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p>	
(9) 調査・審査への活用度	<p>議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p>	

※評価は各項目毎に行い、5点満点とします。(5点…大変良くできた、4点…良くできた、3点…概ねできた、2点…あまりできなかった、1点…できなかった)
但し、該当項目がない場合は評価をいたしません。

～ ありがとうございます。～